

サウジアラビアで新規作業を獲得

～中東で5つ目となる大型案件受注～

山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村公大）のサウジアラビアにおける現地法人山九サウジアラビアは、**Sadara Chemical Company**（以下**Sadara社**）より、サウジアラビアにあるアルジュベイル工業団地内の石油化学プラントにおける保全作業を獲得いたしました。

契約内容は、**Sadara社**の装置群のうちエチレン装置、芳香族装置群の保全業務を行うというもので、工場の設備が安定稼働するための日常的な点検・修理が主となります。作業は**2019年6月**より開始しており、契約期間は**3年間**で**2年延長**のオプションも含まれています。

当社は**2008年**にサウジアラビアのラービグにおける石油化学プラントの保全業務受注に伴いサウジアラビアに進出し、**2016年**にはオマーンに進出。これまでに**4つの地域**において製油所、石油化学プラントを中心とした物流業務、操業支援、日常保全業務を行っております。アルジュベイル工業団地では**2012年**より**SATORP社**の製油所における日常保全業務を行っており、これらの実績と当社の技術力が評価され今回の受注に至りました。

これからも山九グループはグローバルな展開に注力してまいります。

Sadara社について

2011年に設立されたサウジアラビアの国営石油会社サウジアラムコ社とダウケミカル社による合弁会社。ジュベイルⅡ工業団地内に第1期として世界最大の石油化学コンビナートを有し、年間**300万トン**以上となる石油化学製品の生産能力を有しています。

